

平成27年度  
第2回北杜市芸術文化スポーツ振興基金活用検討委員会

日時 平成27年12月3日(木) 午前9時30分～午前11時

場所 北杜市役所 西会議室

出席者 協力金寄附者 (サントリー株式会社) 日下部健  
地域団体代表者 (区長会代表) 清水謙雄  
地域団体代表者 (地域委員会代表) 船木良  
スポーツ団体代表者 (体育協会代表) 萱沼鉄男  
文化団体代表者 (文化協会代表) 白砂勇  
学識経験者 (芸術関係学識者) 中澤明子  
学識経験者 (芸術関係学識者) 輿水順彦  
市長が認める者 (教育長) 藤森顕治  
市長が認める者 (教育部長) 浅川一彦

事務局 生涯学習課長 山内一寿  
社会教育担当リーダー 平井伸一  
社会教育担当 高柳博基

議事 (1) 平成27年度の基金活用事業の検証について  
(2) 平成28年度の基金活用事業の方針について

公開・非公開の別 公開

傍聴人の数：0名

1. 開会

2. 委員長あいさつ(輿水委員長)

3. 教育長あいさつ(藤森教育長)

4. 委嘱状交付

5. 議事 (北杜市芸術文化スポーツ振興基金活用検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となる)

(議長) 第1号議案「平成27年度の基金活用事業の検証について」を事務局からの説明を求める。

(事務局) 資料平成27年度事業実績一覧について説明  
事務局で八ヶ岳音楽祭とよさこい祭りを視察いたしました、八ヶ岳音楽祭については都内に行かず一流のコンサートを身近に聴けるのは魅力でした。会場も満員でした。また、よさこい祭りは子供から大人まで30団体の活気あるステージでした。子供の数が思った以上に多く、次世代に受け継がれていると感じました。また、フィールドバレエ、のうのう能体験の参加者アンケート(抜粋)の説明。

(議長) 委員さん方についても検証をお願いします。

- (委 員) 私はフィールドバレエを視察しました、すばらしい公演で基金が有効に使用されていると思いました。
- (議 長) 八ヶ岳音楽祭に参加しました、地元とプロで合同で開催している、会場も満員でしたし基金が有効に使用されていると思いました。韮崎市のホールも指定管理者を別会社に変更したということを知りました、現在の指定管理者も努力しているが必ずしも外部評価は違う。この基金の活用についても同様です。ほかに意見等お聞きしたい。
- (委 員) 寄附者の思いと同時に北杜市民がどのように受け止めたかを考え活用した方がよいと思います。基金を活用し事業に参加できた、参加してよかった、繰り返し見たい、次も見たいなどの意見はよいことです、会場で直接見て感動したなどの感想が得られるのは事業を行う上で有効です。  
具体的には、フィールドバレエについて「北杜市の森の中でしか出来ない」は価値がある、新しい目を見つけるために使用した方がよい。
- (議 長) 生で一流に触れることは感性が磨かれるためよいと思います。
- (委 員) サントリーサンバーズのバレーボール事業については、参加した指導者の意見も聞きたいと思います。
- (議 長) 他に意見等なければ第2号議案に移ります。  
「平成28年度活用事業の方針」について事務局に説明を求める。
- (事務局) 資料平成28年度芸術文化スポーツ振興基金活用事業の方針について、今後のスケジュール及び事業計画の説明
- (事務局) スポーツ関係について、補足説明いたします。野球及び水泳教室については、3年計画で浸透を図りたい。陸上は市内にプロの方が在住しており、講師に招き実施します。BMXは陸上と同様市内にプロの方が在住し、専用施設があるためご協力いただき育成を含め普及したい。バスケットは山梨のプロチームが復活したこともあり一流に触れてもらうため実施したい。健康教室は引き続き誰でも気軽に参加でき続けていきたい。最後にスケートは地域ならではの競技であり普及を図っていききたいと思います。
- (委 員) スポーツ少年団の参加人数が減少している、参加人数を増やせるような事業を検討できないか。
- (事務局) 特に中学生は約1,000人が市内9校に分かれている。チーム編成が難しい現状があり、打開する必要があります。小学生は市内約2,000人のうち940人程度がスポーツ少年団に入団している、今後停滞しないようにしなければならない。
- (委 員) スポーツには各種いろいろ競技種目がある、基金を通じて応援できればいいと感じます。
- (事務局) スポーツに関しては、市内在住の講師を依頼する予定です、講師の紹介も情報提供していきたい。また、参加する側に立ち事業を実施したい。また、補助事業については、検討会に申請団体に参加していただきプレゼンテーションを行い熱意を皆様に聞いていただきたいと思います。
- (委 員) 学校芸術体験事業について、基金の使用科目をお聞きしたい。

- (事務局) 事業費のほとんどが報償費です、その他チラシ印刷、消耗品費です。対象は市内小中学生です。
- (委員) 単発の事業を実施するのではなく、市として何を残していくのかが重要です。成功例としてはフィールドバレーで市の魅力として伝えていける。スポーツは多くの種目から一つに絞ることが難しい、多くの種目に興味を持ってもらった方がよい、指導者もいますし何を支援したらいいか、目的を持っていれば支援できると思います。マイナースポーツにも力を入れている方もいます、その人達には何を支援していくのか冷静に見ていく必要がある。
- (事務局) BMX事業についても市内で活躍している方がおり、支援し普及していくため、また、陸上事業についても市内の地形が練習環境にとっても良いとの意識付けができ子供達にも知ってもらいたく計画しました。補助事業については、これまでは要綱に基づき一流の機会を提供できる事業に補助してきました。これからは子供達が一流に触れることが出来るような、将来性を展望できるような事業に補助していきたいと考えています。
- (委員) プレゼンテーションの件ですが、よい考えではありますが、事業採択の際、不採択の決定を申請団体の前ではしにくい、逆に提案ですが事業が終了し、実績報告時期に事業に対する熱意を伝えていただいた方がよいと思います。また、スポーツ少年団については、いわゆるクラブチームに参加しない子供やスポーツ少年団の指導者に対して応援できることもあるのではないかと。
- (議長) 特にスポーツ事業は、何年も継続していくことが必要で単発ならないような方がいいと思います。
- (委員) サッカーのスポーツ少年団は、現在合同チームになったと聞いている、いい意味では繋がりが生まれているのではないかと。
- (事務局) 中学校は部活として活動するため、スポーツ少年団のように町を超えての活動は出来ない、ただし、スポーツ少年団に所属し活動していたことが中学生になって大会等で繋がりが出来ることはよいこととあります。
- (委員) 芸術文化スポーツ基金の募集チラシについて、レイアウト等検討していただき寄付金が多くなるようお願いしたい。
- (議長) その他ほかになければ議事を終了します。
- (事務局) 議事進行ありがとうございました。

## 6. 閉会（中澤副委員長）

終了時間：午前11時